

都立高校におけるチャレンジサポートプランの策定の背景と目的

- 東京都教育委員会は「東京都教育ビジョン（第5次）」において「誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実」を施策の柱の一つに設定するとともに、令和6年3月に策定した「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム＜令和6年更新版＞」において具体的な施策を取りまとめるなど、様々な困難を抱える生徒に対する支援にも取り組んできました。
- 現在、都立高校における困難を抱える生徒は増加傾向にあり、生徒のニーズも多様化しています。また、困難を抱える生徒が多く在籍する一部の学校では受入環境の改善が必要なことに加え、困難を抱える生徒に対する支援策の実施に当たっては、関係者により様々な側面から連携して取り組む必要があります。
- このような状況を踏まえ、困難を抱える生徒に対する支援の取組を総合的に進め、都立高校における多様な生徒たちの学びや成長を支える学習・教育環境の充実を図ることを目的に「都立高校におけるチャレンジサポートプラン」を策定します。

都立高校における困難を抱える生徒の現状と課題

（1）不登校・中途退学を経験した生徒

- ・小中学校における不登校児童・生徒数の合計は**10年連続で増加**
- ・不登校生徒の**6割強が定時制課程**に在籍
- ・生徒が悩み等を相談できる場の整備とそれぞれが抱える事情等への対応が必要

（2）日本語指導が必要な生徒

- ・都立高校における日本語指導が必要な生徒の数（外国籍）は10年間で**約2倍の733人に増加**
- ・日本語を習得できる環境の整備と円滑な学校生活を送るための支援が必要

（3）家族の世話等をしている生徒（ヤングケアラー）

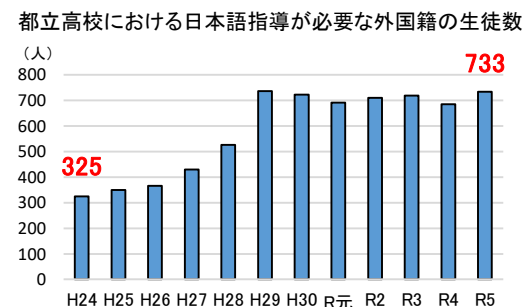
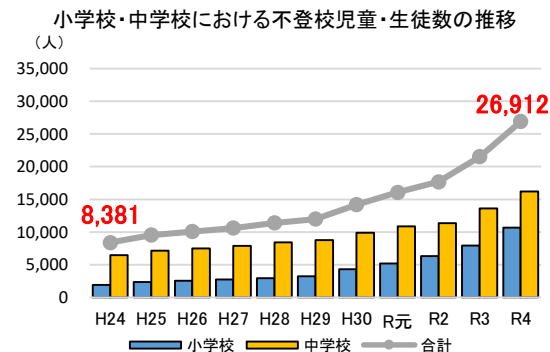
- ・**全日制**高校2年生の**4.1%**、**定時制**高校2年生の**8.5%**が世話をしている家族がおり、そのうち全日制高校については**64.2%**が世話について**相談したことがない**と回答（令和2年度厚生労働省全国調査）
- ・生徒が相談できる体制とヤングケアラーに対する理解を深める取組が必要

（4）都立高校における特別支援教育の充実

- ・発達障害の可能性のある生徒の都立高校全体に占める割合は3.4%（令和3年度東京都教育委員会調査）
- ・**全日制課程**では**2.5%**、**定時制課程**では**14.4%**であり、定時制課程に多く在籍
- ・障害に応じた学習上又は生活上の困難の軽減を図るとともに卒業後の自立に向けた支援が必要

（5）困難を抱える生徒が多く在籍する学校の現状と課題

- ・夜間定時制課程では、**昭和40年度**に進学した生徒の**88.3%**が**勤労青少年だったが、令和5年度**には生徒全体の**約3%**まで**減少**
- ・昼夜間定時制課程の応募倍率は1.26倍、依然として入学希望に十分に答えられていない状況
- ・夜間定時制課程は応募倍率が0.31倍、極端な小規模化が進み学習・教育環境に課題が生じている



都立高校における困難を抱える生徒に対する支援の取組

生徒が相談できる体制の充実

- 不登校経験や家庭環境の問題、学習の悩みなどをスクールカウンセラーやユースソーシャルワーカー等に相談できる体制を充実
- 教室以外の生徒の居場所や相談場所として「校内居場所カフェ」や仮想空間上の学習環境等を用意
- 日本語指導が必要な生徒に対し、日本語指導支援員や通訳等の専門家の紹介などの支援を実施
- ヤングケアラーの生徒を支援するため、教職員等向けにデジタルリーフレットを作成し理解を促進

など

生徒の事情や悩みに応じた適切な支援

- 不登校経験のある生徒等の学び直しのために、基礎的な科目を設置し少人数のきめ細かい指導を通して学力の定着を図る
- 日本語能力が入門・初級レベルの新入生のために、春期・土曜日本語講座を実施
- 発達障害等のある生徒の就労を支援するため、民間企業等と連携し就労スキルの習得や企業とのマッチングを実施
- 障害のある生徒等に対して、介助職員を配置し学習支援を行うなど障害特性に応じた必要なサポートを実施

など

多様な生徒の受入環境の充実

- 多様な生徒に幅広く対応できる、柔軟できめ細かな教育課程や教育相談体制の充実を図った新たなタイプの学校を開校
不登校経験のある生徒等にとって適切な環境を用意しているチャレンジスクール等を新設・増学級
極端な小規模化により学習環境に課題の生じている一部の夜間定時制課程を募集停止し、生徒を適切な環境で受入れ
- 外国につながる生徒の増加に対応するため、適切な募集規模を検討し、在京外国人生徒等を受入れ
- 不登校経験のある生徒など、多様な生徒の実情に対応した入学者選抜の在り方を検討

など

新たな受入環境充実校へ改編

深沢高校（世田谷区、令和8年度から）

チャレンジスクール等新設・増学級

立川緑高校（チャレンジスクール、立川市、令和7年度新設）

砂川高校（昼夜間定時制課程、立川市、令和7年度夜間部1学級増）

六本木高校（チャレンジスクール、港区、令和8年度1学級増）、大江戸高校（チャレンジスクール、江東区、令和8年度1学級増）

夜間定時制課程募集停止

立川高校（立川市、令和7年度募集停止）

小山台高校（品川区）、桜町高校（世田谷区）、大山高校（板橋区）、北豊島工科高校（板橋区）、蔵前工科高校（台東区）、葛飾商業高校（葛飾区）（以上6校は令和8年度募集停止）

計画期間

令和7年度から令和9年度まで